

## 飼料生産型酪農経営支援事業

【6,581(6,226)百万円】

### 対策のポイント

自給飼料生産基盤に立脚した経営を行う酪農家を支援します。

### <背景/課題>

- ・酪農経営1戸当たりの飼料作付面積は28.4ha(平成25年2月1日)です。また、酪農経営1戸当たりの経産牛飼養頭数は増加傾向にあり47.6頭(平成25年2月1日)です。
- ・輸入飼料依存から脱却し、我が国酪農の競争力を強化するためには、自給飼料生産基盤に立脚した経営を行う酪農家(自給飼料の生産を行うとともに環境負荷軽減に取り組んでいる者)の経営の安定を図る必要があります。

### 政策目標

酪農経営における飼料作付面積の拡大

### <主な内容>

自給飼料生産基盤に立脚した経営を行う酪農家(自給飼料の生産を行うとともに環境負荷軽減に取り組んでいる者)に対し、飼料作付面積に応じた交付金を交付します。

また、とうもろこし等の二期作、二毛作の2作目の面積や契約栽培により耕種農家が飼料作物を作付けする面積も含め、交付対象となる飼料作付面積を拡大します。

#### (1) 交付対象者の要件

- ・飼料作付面積が北海道で40a/頭以上、都府県で10a/頭以上
- ・環境負荷軽減に取り組んでいること(8メニューから2つ選択)

#### (2) 交付金単価

飼料作付面積1haあたり15千円

〔補助率：定額〕  
〔事業実施主体：都道府県協議会、生乳生産者〕

[お問い合わせ先：生産局畜産企画課(03-3502-0874)]

# 飼料生産型酪農経営支援事業の概要

自給飼料生産基盤に立脚した経営を行う酪農家（自給飼料の生産を行うとともに環境負荷軽減に取り組んでいる者）が将来にわたり安定して経営を継続できるよう支援。

## 支援対象者

- ◆ 飼料作物作付面積が、  
北海道で40a/頭以上  
都府県で10a/頭以上
- ◆ 環境負荷軽減（8メニューから2つ選択）に  
取り組んでいること。
- ◆ その他の要件（年間を通して生乳を出荷していること、事業実  
施状況の確認等に協力すること等）を満たすこと。



## 支援の水準

◆ 交付金単価 15,000円/ha

交付金額  
= 交付金単価  
× 飼料作物付面積



## 事業内容の見直し点

平成26年度 持続的酪農経営支援事業

- 持続的な経営を行う酪農家に対し、飼料作物面積1haあたり15,000円を交付する。

平成27年度 飼料生産型酪農経営支援事業

- 平成26年度事業の内容に加え、  
◆ とうもろこし等の二期作、二毛作の2作目の面積  
◆ 耕種農家による契約栽培の面積  
を交付対象とする。